

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日: 令和4年11月16日(水)
場 所: 河津桜観光交流館
主 催: 静岡県
当日参加人数: 24人

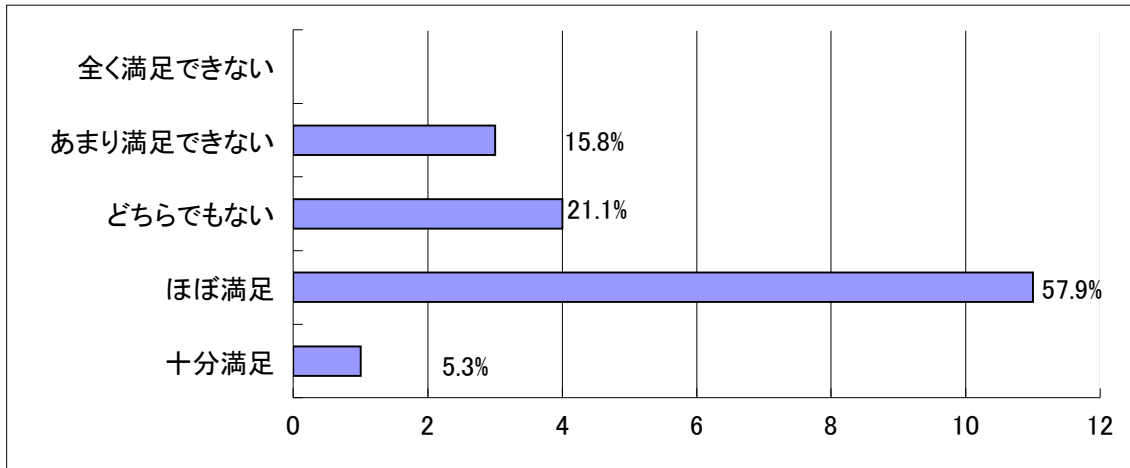
I 参加者

(1) 男女比

男性	3人
女性	21人
合計	24人

II タウンミーティングについて

(1) タウンミーティングの満足度



III 意見・感想(アンケートから抜粋)

- 健康の為にも、食品表示について今までより勉強したいと思う。
- 安全性については理解できる。生産者として、今後の生活の保障ができるように農産物の値段を考えてほしい。
- 表示の話をもっと聞きたかった。

IV 参加者からの意見・質問

農作物の安全性確保について、各種マークを紹介していただいたが、そのマークがついた農作物の農薬の使用状況はどのように確認できるか

(県回答) エコファーマーも特別栽培農作物も農薬を使用する計画を認定しているものである。実際の使用状況については確認できていないのが現状です。

(参加者意見) 見える化という点では、もう少しわかりやすくなると良いと思う。

高血圧で塩分を気にしながら商品を購入している。栄養成分表示をどのように活用すればよいか

(県回答) 栄養成分表示の一番下に食塩相当量という項目がある。目安として、30歳～49歳で高血圧を予防するためには1日の6g未満となっている。目標の数値よりも低くするための目安として栄養成分表示を活用して欲しい。

HACCPについて義務化されたが、HACCPの認定を受けた施設は増えているのか?

(県回答) 今回の法改正では、HACCPを認定、認可、取得するものではなく導入するものとして制度が改正されている。事業者の皆様が当たり前のように衛生管理の方法として取り入れてもらうという制度である。認定は必要としていない。